

ブライダルジュエリー

ブライダルジュエリーの市場規模推移と予測

矢野経済研究所では、2015年のブライダルジュエリー市場規模を1,677億円（前年比98.6%）と推定した。これは宝飾小売市場規模9,691億円の17.3%（前年は17.4%）を占めている。うちダイヤモンドエンゲージリング市場は757億円（前年比97.6%）、マリッジリング市場は920億円（同100.9%）となっている。

ダイヤモンドエンゲージ取得率は58.3%から58.4%へと微増したが、単価の下落が影響した。またマリッジリングの取得率は98.4%から97.4%へと落ち込んだ。

ダイヤモンドエンゲージリングの平均単価は204,000円（同97.1%）だったが、マリッジリングは74,400円（103.3%）だった。円安の影響でダイヤモンドの輸入単価は上がったが、より小粒志向が強まったことと、ダイヤモンドエンゲージリングで使われるプラチナ価格が、2014年の平均4,759円から2015年は4,205円へと11.7%も下がったことも影響している。マリッジリングで主流の金価格は同じく4,340円から4,564円へと5.1%上昇したことも、マリッジリングの平均単価を押し上げた一因と思われる。（参考：田中貴金属工業小売価格）

*なお「ゼクシィ結婚トレンド調査2015」によると婚約指輪の全国平均単価は34.0万円で弊社調査と136,000円の乖離がある。これは同調査の対象がゼクシィの読者であり、夫の平均収入が472.8万円と中間層の上のクラスであるためと思われる。

